









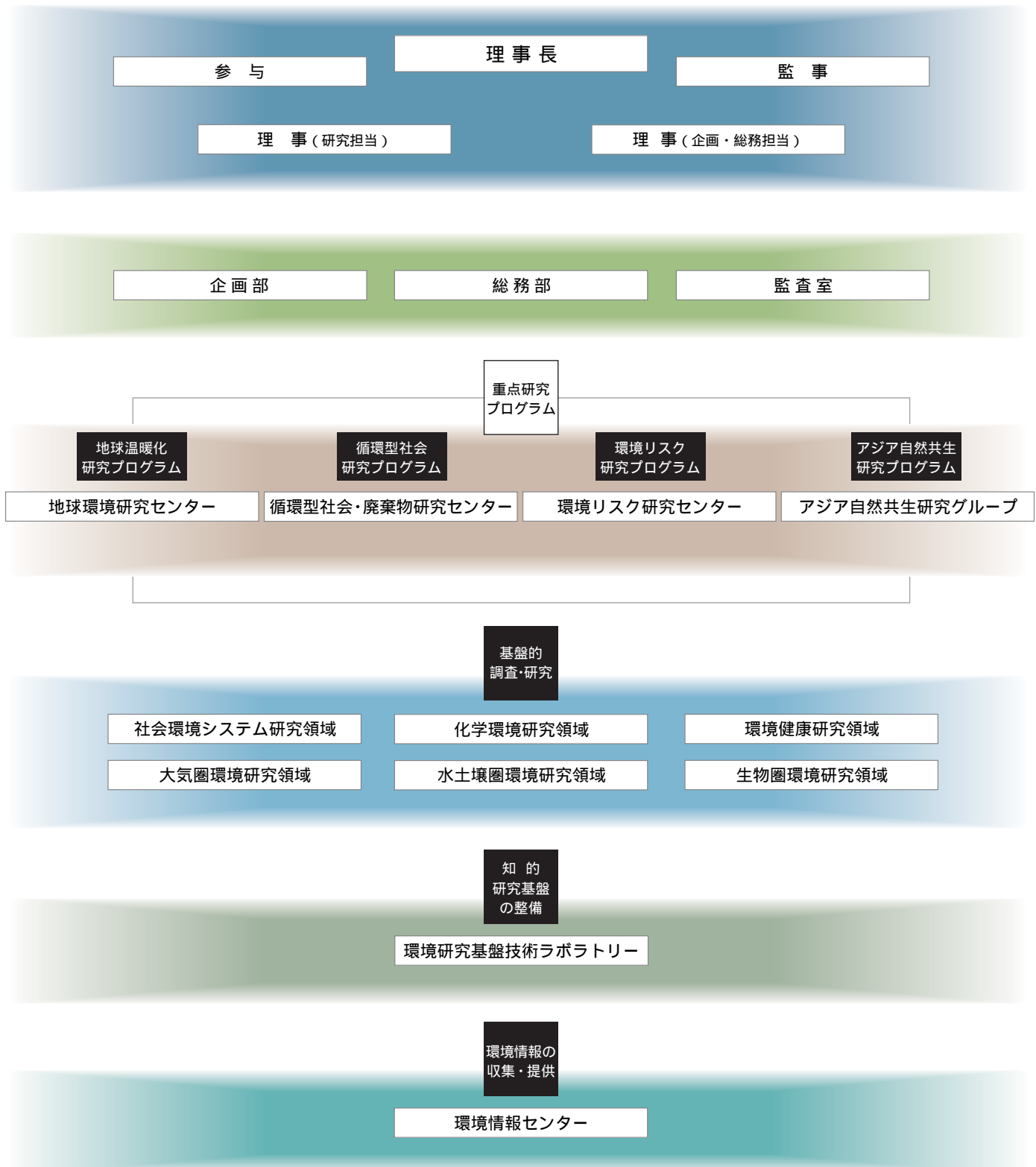






## 組織 — 研究所の強みを活かした戦略的かつ機動的体制 —

10年先にあるべき環境や社会の姿及び課題を見越して、環境政策に資するため、研究所が集中的・融合的に取り組むべき研究課題として、4つの重点研究プログラムを設定しました。これまでに培った研究資源を戦略的かつ機動的に配分し、次期の研究所の活動のさらなる充実・強化と効率的な運営の両立を図るため、適切な研究組織及びその支援体制等を編成しました。







④ 富士北麓フラックス観測サイト（山梨県）



① 摩周湖水質ベースライン調査（北海道）

## 全国のフィールドステーションと研究活動の展開

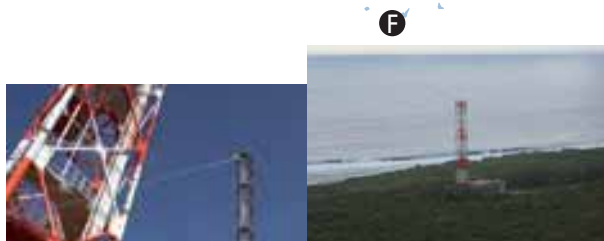
国立環境研究所は、所外研究・観測施設を全国に展開し、環境の現況を把握するためのフィールド研究を行っています。



⑤ 東京湾環境ホルモンに関する調査



② 霞ヶ浦水質トレンドモニタリング調査（茨城県）



⑥

⑥ 波照間地球環境モニタリングステーション（沖縄県）

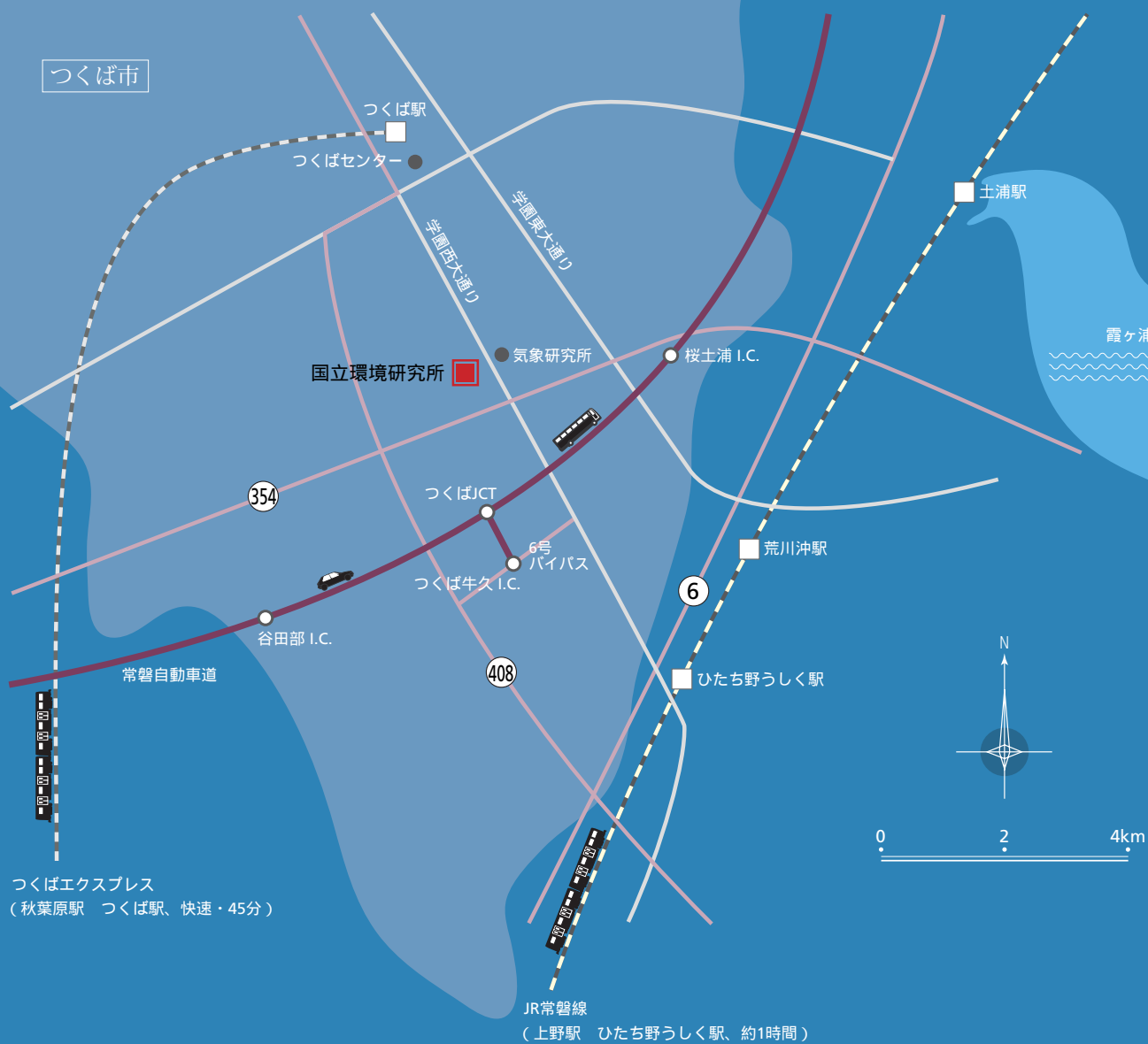
③ 国立環境研究所（大山ホール）



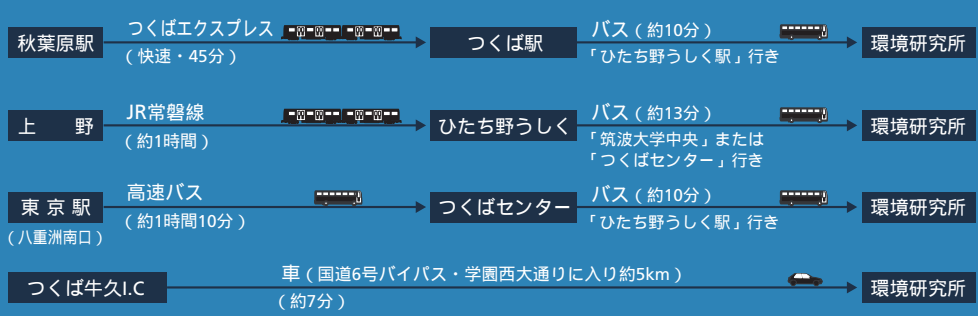
③ 国立環境研究所（夏の大公開）

③ 国立環境研究所（RI・遺伝子工学実験棟）





交通



独立行政法人 国立環境研究所



住所 〒305-8506 茨城県つくば市小野川16-2  
 HPアドレス <http://www.nies.go.jp>  
 Eメール [kouhou@nies.go.jp](mailto:kouhou@nies.go.jp)  
 問合せ 企画部 広報・国際室 tel.029-850-2308

東京事務所 〒100-0013 東京都千代田区霞ヶ関1-4-2 大同生命霞ヶ関ビル7階 tel.03-3519-6965

